

東京都土地改良だより

第 150 号



災害復旧事業施工箇所（あきる野市雨間）

- 目次 -

- 東京都農業用水水利協議会定例会開催
- 土地改良換地士資格試験
- 第 38 回全国土地改良大会（青森大会）
- 水土里ネットニュース
- 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展

東京都農業用水水利協議会定例会開催

去る 7 月 10 日(金)、東京都農業用水水利協議会定例会を開催致しました。

改装された立川市民会館「たましん RISURU ホール」(5 階第会議室)において、東京都農業用水水利協議会定例会が開催されました。

多摩川水系をはじめ浅川、鶴見川、秋川、荒川の各水系の会員 43 組合中 23 組合から 25 名、また特別会員 23 名(東京都 9 名、市 9 名、事務局 5 名)が出席しました。



開会に先立ち、原嶋会長(大丸用水土地改良区理事長)から「年に一度の協議会総会でもあり、日頃、用水管理などで抱えている問題や課題に忌憚のない意見交換ができることを期待する」との挨拶で始まり、続いて来賓を代表して東京都の小寺農業基盤整備担当課長から、「都市における農業用水は多面的機能を有しており、農業振興によって保全し活用することは、都市住民からも期待されている。」と激励の祝辞をいただきました。

定例会は、原嶋会長の議長で議事に入り、全議案(平成 26 年度事業報告並びに収支決算報告、平成 27 年度事業計画(案)及び、収支予算(案)、役員改選)について満場一致で承認されました。また、役員の任期満了に伴う役員改選については、事務局の原案が承認をされました。

定例会終了後、引続き東京都農業振興課太田課長代理から、「多面的機能支払制度(水土里保全活動支援事業)」及び、「都市農地保全支援プロジェクト」について説明がなされ、説明後には参加者から質問があるなど熱心な受け答えがありました。

また、例年実施している“第 13 回東京都水土里の路ウオーキング”の日程、コース案内の説明、また“田んぼの生き物調査”の本年度実施予定並びに昨年の報告があり、定例会は閉会しました。

水土里保全活動支援事業について事業 PR 説明会及び、意見交換会の開催

東京都農業用水水利協議会定例会の終了後、当連合会主催により「多面的機能直接支払制度(水土里保全活動支援事業)」の事業 PR 説明会及び、意見交換会を開催いたしました。

本事業は、今年度から東京都において取り組みが始まり、本事業を有効に利活用することで日頃の営農活動における施設の維持管理費用負担の軽減に繋がることから、水利協議会の研修会も兼ねて参加された水利協議会会員並びに、関係団体に向けて情報提供を行ないました。

説明会では、地区選定から計画策定、実施グループの組織など事業実施に向けての概要説明をした後、今年度実施されている行政(市)及び用水組合から、実際の取り組み事例について説明をいただきました。

事業の内容及び、実際の取り組み事例の説明を受け、参加者から日頃の管理上の課題や問題点をはじめ、本事業を取り組む際の利点または課題等について、様々な意見が出され活発な意見交換会となりました。

国の要件に満たないものについては、協議会として都に要望したらどうかといった意見もあり、来年度の予算要求に向けて、新たな地区の取り組みが期待されています。

第 38 回 全国土地改良大会 青森大会

～あづましの風流れる青森大会～

土地改良の路繋ぎ 明日への確かな途拓く

10 月 15 日(木)、第 38 回全国土地改良大会（青森大会）が開催されます。

この大会は、全国の関係者が農業農村を次世代に健全な姿で引き継ぐと共に「健全な農業・農村は豊かな国土と自然環境、地域社会、人の生命(いのち)を育む」というメッセージを国内外に発信することを目的としています。

今回は青森県を舞台に「～あづましの風流れる青森大会～ 土地改良の路繋ぎ 明日への確かな途拓く」をテーマに開催します。主な内容は、土地改良に貢献した功績を表彰する式典や、開催地の土地改良優良事例の紹介があります。この他に記念行事として、オープニングアトラクションなどが開催され、盛り上がります。

また翌日には、県内で実施された農業農村整備の代表的な地区の事業視察が行なわれます。



実施要項

◆テ ー マ：～あづましの風流れる青森大会～ 「土地改良の路繋ぎ 明日への確かな途拓く」

◆期 日：平成 27 年 10 月 15 日(木)

◆場 所：新青森県総合運動公園（マエダアリーナ）

◆主 催：全国土地改良事業団体連合会、青森県土地改良事業団体連合会

◆後 援

農林水産省 青森県 青森県議会 青森市 青森県市長会 青森県町村会 公益社団法人青森県観光連盟 公益社団法人青森県物産振興協会 青森県農村整備建設協会 青森県土地改良調査設計技術協会 NPO 法人あおもりふるさと再生機構

◆事業視察：県内の先進的な国営、県営農業農村整備事業等の視察を実施

◆併催行事

青森県農業・農村パネル展、青森県の特産品展示販売など

◆お問合せ先

東京都土地改良事業団体連合会 事業課 原山(はらやま) 電話 042-548-0371(代)



「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2015 開催

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2015 が開催されます。

この絵画展は農業、農村、原風景、伝統や文化といった貴重な財産を子どもたちに引き継ぐため、関心を持ってもらうとともに、水の循環や環境保全への理解を促すことを目的として開催されています。

今年のテーマは「新発見！ぼくのわたしのふるさと」です。田んぼの様子や農村の風景など、子どもたちの目線から見た「新発見！」を募集します。

応募された作品は、審査後に入賞や入選作品が選ばれ表彰が行われます。入賞入選することのできなかった方々にも、もれなく参加賞をお渡しします。

子どもたちの夏休みの宿題に、思い出づくりに、ふるってご応募ください。



募集のきまり

■応募資格

小学生以下（クラス学校単位での共同作品も可）

■寸法及び仕様

四つ切画用紙サイズ（38cm×54cm）以上 90cm×190cm まで、厚さは 3cm 以内、画材は自由

■内容

作品テーマ「新発見！ぼくのわたしのふるさと」にまつわる題材で自由に描いてください。

「田んぼ」「ため池」「農業用水路」などの風景や水路管理に携わる人、古くから伝わる祭りや風習、郷土料理、農作業風景など。

■応募期限

2015 年 9 月 4 日

■特記事項

- ・グループ等でまとめて描かれる場合は、作品テーマや構図等の統一は在るべく避け、各自が自由に選択できるように心がけてください。
- ・応募作品は未発表のものとし、他の絵画展で入賞、入選など受賞した作品や過去の入賞、入選作品（他の絵画展も含む）などを模写した作品。
- ・応募用紙に必要事項を記入のうえ、1 点ずつの作品のウラ、右下スミに、はがれないように貼り付けてください。共同作品の場合は、代表者名（学級担任等）、全員の名前も明記し、応募用紙の近くに貼付けてください。

■お問合せ先

東京都土地改良事業団体連合会 事業課 長谷(はせ) 電話 042-548-0371(代)

平成 27 年度土地改良換地士資格試験受験者募集

土地改良換地士の資格試験が今年も実施されます。

この資格は、土地改良区がほ場整備等の土地の区画形質の変更を伴う土地改良事業において換地計画を定めるには、その計画に係る土地につき権利を有する全ての者で組織する会議の議決前に、農用地の集団化事業についての専門的知識及びその事業に係る実務の経験を有するものとして農用地集団化事業の専門家となり、その換地計画に意見を述べる役割をもつ土地改良換地士になるためのものです。

当連合会にて、受験の手引きや願書などの書類を配布しておりますので、東京都にお住いでこの資格に興味のある方、土地改良換地士を目指している方は、お気軽にお問合せ下さい。

試験について

■ 受験資格

- 一般受験 年齢、性別、学歴等に関係なく、誰でも受験できます。
- 一部免除受験 換地処分に係る実務が 10 年以上経験した方が受験できます。

■ 日程

- 受験申込 平成 27 年 7 月 17 日～平成 27 年 9 月 4 日
- 試験期日 平成 27 年 10 月 18 日

■ 試験科目

- 知識の試験 土地改良法、民法、不動産登記法などの法令関連や測量関連の問題が出てきます。
- 実務の試験 換地計画書の作成や戸籍簿等調査といった実務に関する問題が出てきます。

■ 合格基準

各試験科目の 60%以上の成績を得た方

■ 受験地

札幌市、仙台市、さいたま市、金沢市、名古屋市、京都市、岡山市、熊本市及び那覇市

■ 合格者の公表

- 合格者の受験番号及び氏名が官報に掲載されます。
- 各地方農政局、国土交通省北海道開発局、内閣府沖縄総合事務局の掲示場に受験番号を掲示します。

□ お問合せ先

東京都土地改良事業団体連合会 事業課 原山(はらやま) 電話 042-548-0371(代)

**平成27年度
土地改良換地士資格試験**

試験期日 平成27年10月18日(日)

試験地 札幌市、仙台市、さいたま市、金沢市、名古屋市、京都市、岡山市、熊本市、那覇市

**受験申込
受付期間** 平成27年7月17日(金)から
平成27年9月4日(金)まで

◎受験願書及び「受験の手引」等の配布

- ・配布期間：平成27年7月17日(金)～平成27年8月25日(火)
- ・配布場所：各地方農政局等及び都道府県土地改良事業団体連合会

詳しくは、農林水産省ホームページ(<http://www.maff.go.jp/nousin/kikaku/kantisi/>)または「受験の手引」をご覧ください。

土地改良換地士 

(問合せ先)

農林水産省農村振興局長官邸土地改良部課 TEL: 03-6744-2192

東北農政局農村土地改良部課 TEL: 022-223-9200	関東農政局農村土地改良部課 TEL: 148-942000
北陸農政局農村土地改良部課 TEL: 075-252-4530	東海農政局農村土地改良部課 TEL: 054-223-4521
近畿農政局農村土地改良部課 TEL: 075-814-9313	中国四国農政局農村土地改良部課 TEL: 086-224-9410
九州農政局農村土地改良部課 TEL: 096-211-9659	内閣府沖縄総合事務局 TEL: 098-896-1622

又は 土地改良事業団体連合会 (TEL)

水土里ネットニュース

第 24 回東京都農道台帳作成管理協議会定例会開催

平成 27 年 6 月 5 日（金）都庁第一本庁舎 25 階の会議室において、第 24 回定例会が会員 9 市町村のうち 7 市町村の出席で開催されました。

平成 26 年度事業報告並びに収支決算等の議案が審議され承認されました。

今回は、会長及び副会長、監事の役員改選期でありましたが、全役員の留任が承認されました。

農業農村整備の集いに参加

来年度の概算要求の前に行動するというところで、例年は 11 月に行っていた「農業農村整備の集い」を、平成 27 年 6 月 29 日（月）、千代田区永田町のシェーンバッハ・サポーにおいて、全国から約 800 名の農業農村整備事業関係者が参集し開催されました。

開会にあたって、全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長は「農業を巡る厳しい状況の中、農業農村の振興には地域再生の重要な柱であり、今後とも地域の要望に十分に答えられる予算規模を確保して参りたい」と力強く挨拶され、続いて林農林水産大臣並びに、稲田政務調査会長から来賓の挨拶がありました。

その後、農業農村整備事業の取り組みについての 3 事例の報告がなされ、要望書が採択された後「ガンバロー」の三唱で集いは閉会し、それぞれ関係機関等への要請行動となりました。



関東一都九県土地改良事業団体連合会協議会春季総会

平成 27 年 7 月 17 日（金）さいたま新都心の「ラフレさいたま」において、平成 27 年度春季総会が開催され、平成 26 年度の事業報告並びに収支決算、今年度の事業計画と収支予算、農業農村整備事業推進に関する関東農政局との意見交換会の内容について審議し、承認されました。

また、都道府県水土里ネットブロック代表事務責任者会議に出席された静岡県（今年度当番県）より、平成 28 年度の賦課金及び、功労者等表彰実施要領及び選考基準の改正について報告がありました。

協議会終了後、合同庁舎会議室において農業農村整備事業推進に関する予算の確保をはじめ、事業や制度の拡充への要望など、関東農政局との意見交換が行われました。



水土里ネットニュース

上半期行動実績（平成 27 年度 4 月～7 月）

開催日		会議・行事名
月	日	
4	27	関東地域技術情報連絡協議会「設計・積算部会」
5	26	東京都農業再生協議会監事会
	29	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者研修会 全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会設立総会 平成 27 年度関東農政局管内土地改良区等指導・資金・農地集団化担当者会議
6	2	新たな食糧・農業・農村基本計画東京都説明会
	4	関東一都九県 第 1 回事務責任者会議 平成 27 年度土地改良等担当者会議
	17	東京都担い手育成総合支援協議会総会 東京都農業再生協議会通常総会
	22	新技術新工法に関する説明会
	29	農業農村整備の集い
7	1	土地改良区基盤強化事業会計コース全国研修会
	6	平成 27 年度第 1 回関東ブロック水土里情報センター連絡会議
	15	平成 27 年度 会計実地検査実施状況及び災害復旧事業説明会
	17	関東一都九県土地改良事業団体連合会協議会春季総会
	21	ふるさと東京むらづくり塾構成員会議
	29	都道府県土地改良事業団体連合会会長等会議



みどり
水土里ネット

地域で守ろう豊かな自然

<http://www.midorinet-tokyo.or.jp>

発行所

東京都土地改良事業団体連合会
東京都立川市錦町3丁目12番地11号

TEL : 042-548-0371 FAX : 042-548-0375
URL : <http://www.midorinet-tokyo.or.jp>